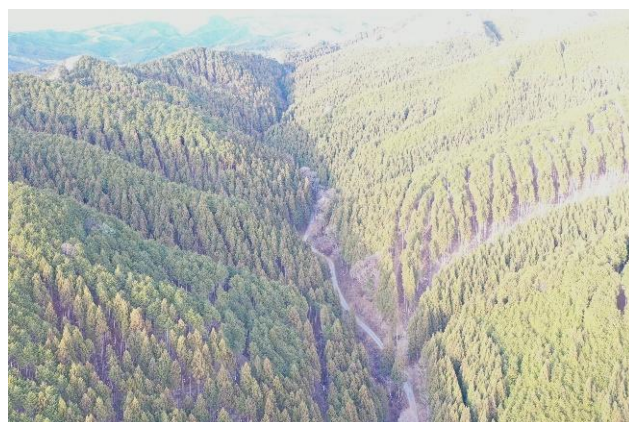
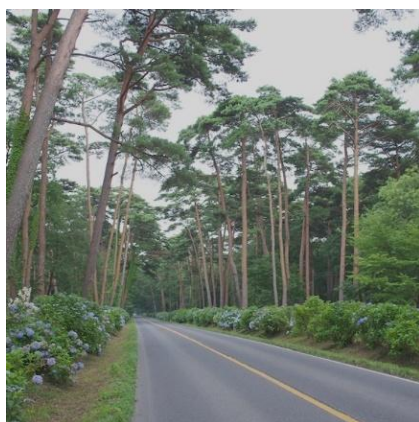


令和8年度
え ん な
塩那の国有林
—管内概要—



国民の森林・国有林

林野庁 関東森林管理局

塩那森林管理署

〒324-0022 栃木県大田原市宇田川 1787-15

TEL:0287-28-3125

<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/enna/index.html>

(参考) 管内市町別森林面積等

(那珂川国有林の地域別の森林計画書(那珂川森林計画区)より)

1 森林計画区の概況

(1) 市町村別土地面積及び森林面積

単位 面積：ha 比率：%

区 分		区域面積 ①	森林面積				森林比率 ②/① ×100
			総数 ②	国有林 (林野庁)	国有林 (林野庁外)	民有林	
総数		233,141	132,073	40,982	1,270	89,821	57
市 町 村 別 内 訳	大 田 原 市	35,436	15,241	3,024	-	12,217	43
	矢 板 市	17,046	9,724	2,154	6	7,564	57
	那須塩原市	59,274	38,303	24,857	10	13,436	65
	さ く ら 市	12,563	2,403	-	26	2,377	19
	那須烏山市	17,435	8,084	321	-	7,763	46
	茂 木 町	17,269	11,074	-	-	11,074	64
	塩 谷 町	17,606	11,350	4,027	3	7,320	65
	那 須 町	37,234	23,633	4,106	1,223	18,304	64
	那 珂 川 町	19,278	12,261	2,493	2	9,766	64

(注) 1 区域面積は「令和7年全国都道府県市区町村別面積調」、民有林面積は「栃木県資料」による。

2 森林面積は、森林法第2条で定義された森林の面積。

3 四捨五入の関係で総数の計は一致しない。

※表紙の写真

左上：「那須岳（茶臼岳）とひょうたん池」（那須町163林班）

右上：列状間伐（大田原市須賀川（23林班）

左下：列状間伐（大田原市須賀川（24林班）

右下：「那須街道アカマツ林」（那須町県道17号線沿い101林班）

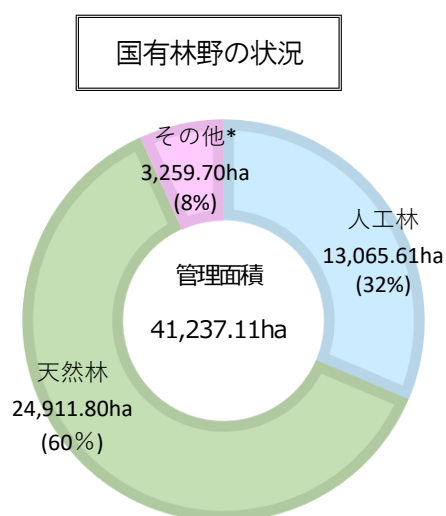
I 塩那地域の国有林の概要

塩那森林管理署は、栃木県北東部の那珂川（なかがわ）源流域（北西～南西部）と八溝山系の中流域（東部）に分布する那珂川森林計画区内の約 41,000ha の国有林の管理経営を担っています。

北西部から南西部にかけての国有林は、日本百名山の一つである那須岳（茶臼岳）をはじめ、隣接して大佐飛山（おおさびやま）を中心とする男鹿（おじか）山塊や高原山（たかはらやま）など標高 1,900m 程度の山々が連なっています。ここでは天然林を主体として優れた森林景観が多く見られ、希少な野生動植物が生息・生育するとともに、登山やスキー等のレクリエーションの場所として多くの人々が訪れています。

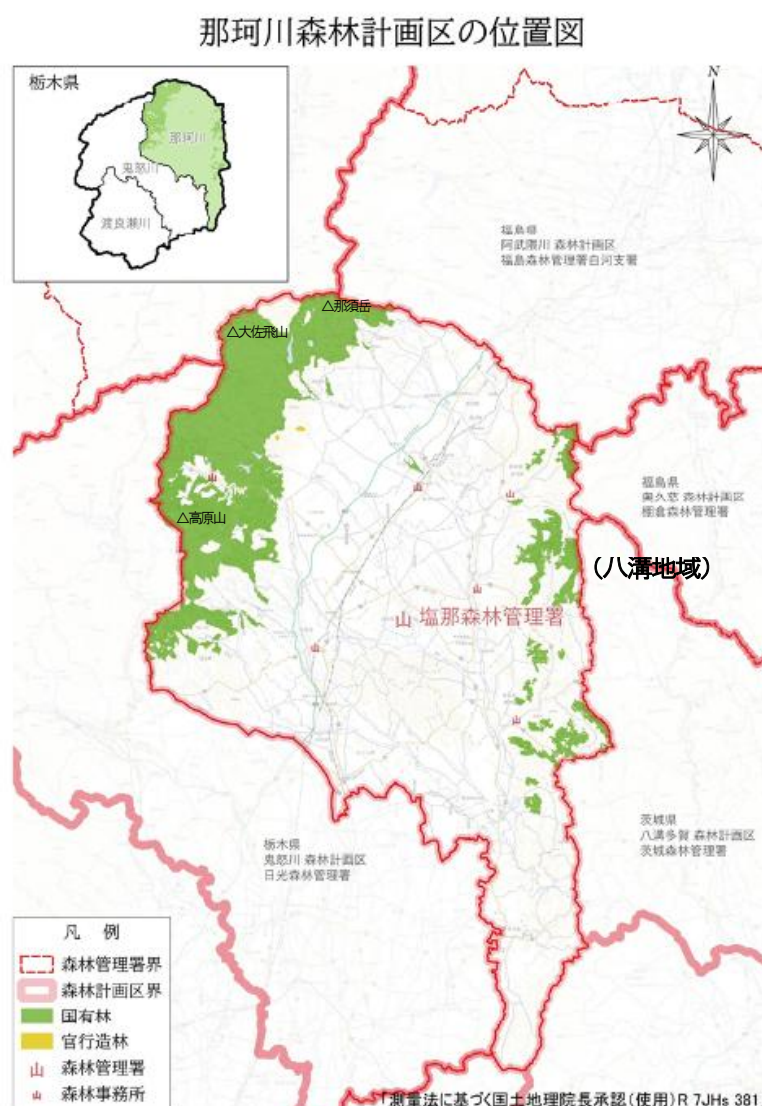
それに対し、東部の八溝地域や南西部の高原山麓の標高の低い里山地域は肥沃な土壌に恵まれ、スギ・ヒノキを主体とする人工林が広がり、ここから生産される木材は古くから八溝材・高原材のブランド材として市場から高い評価を得ています。

塩那森林管理署では、国有林野の公益的機能の維持増進、林産物の安定供給、国有林野の活用による地域振興への寄与を目標とした管理経営を進めています。



第7次国有林野施策実施計画書（那珂川森林計画区）による。

* その他：無立木地、竹林、林地以外



Ⅱ 公益重視の管理経営の一層の推進

国有林では、森林の有する公益的機能の発揮と森林資源の循環利用に向けて多様で健全な森林がバランスよく配置されるように取り組んでいます。国土保全や水源の涵養、地球温暖化の防止等森林に対する国民のニーズの多様化を踏まえ、その重点的に発揮させる機能に応じて ①山地災害防止タイプ、②自然維持タイプ、③森林空間利用タイプ、④快適環境形成タイプ、⑤水源涵養タイプの5タイプに区分して、いわゆる公益林として適切かつ効率的に管理経営を行っています。塩那森林管理署管内の国有林については、水源涵養タイプが最も多く全面積の約41%を占め、次いで自然維持タイプの約26%、森林空間利用タイプの約16%、山地災害防止タイプの約18%となっています。

機能類型区分	機能類型区分の考え方	管理経営の考え方	該当面積(ha)
① 山地災害防止タイプ	山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林	根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持	土砂流出・崩壊防備エリア 7,217.62 * 気象害防備エリア 0
② 自然維持タイプ	原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持	10,741.60
③ 森林空間利用タイプ	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成	6,434.42
④ 快適環境形成タイプ	快適な環境の形成の機能の発揮を第一とすべき森林	汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持	—
⑤ 水源涵養タイプ	水源の涵養の機能の発揮を第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効利用にも配慮	16,843.47
合 計			41,237.11

*竹林を含む値



自然維持タイプ



森林空間利用タイプ



水源涵養タイプ

Ⅲ 発揮すべき機能に応じた森林づくり

塩那森林管理署では前述の5つのうち4つのタイプに応じた森林づくりを進めています。

なお、人工林は管理面積の約3割を占め、その大部分は水源涵養タイプに区分されていますが、いずれの人工林も間伐等の適切な施業を進め、健全な森林として育成し各種機能の発揮を目指しています。さらに、施業を通じて生産された木材の有効利用にも取り組みます。このほか、発揮すべき機能に応じ、以下のような多様な森林づくりを進めています。

1 災害に強い山づくり

令和元年10月の東日本台風などにより、塩那地域の国有林内でも山腹崩壊や林道の路肩崩壊など多くの被害が発生しました。現在、復旧に向けた治山工事や林道工事とともに、予防治山工事にも取り組んでいます。また、これらの工事の実施に当たっては間伐材等を活用した型枠を利用するなど、木材の積極的な利用にも努めています。



台風災害からの復旧（塩谷町大字鳥羽新田）

木製型枠を使った谷止工（那須塩原市上塩原）

2 森林とふれあうためのレクリエーションの森の設定

優れた景観を有し、森林浴や自然観察、スキー等の野外スポーツなど人と森林とのふれあいの場を提供するため、塩那森林管理署では、12箇所約4,400haの森林を「レクリエーションの森」に設定し、関係機関等と協力して管理しています。

（1）自然休養林

名 称	面積 (ha)	概 要
奥 那 須	2,368	那須連峰（茶臼岳）を中心として山岳地帯から那須街道沿いの貴重な平地の里山林までバラエティに富んだ森林から成り、四季を通じてすぐれた景観を楽しませてくれることから、多くの登山者や一般市民が訪れます。
は っ ぽ う 方	830	矢板市の高原山の中腹部の標高 1,000～1,400m に広がる高原台地で、ブナ、ミズナラ、ダケカンバを主体とする天然林、約 50ha に及ぶレンゲツツジ、ヤマツツジの大群落があり6月の開花時期には多くの人が訪れます。



奥那須 自然休養林



はっほう
八方 自然休養林

(2) 自然観察教育林

名 称	面積 (ha)	概 要
須 巻 富 士	17	那須塩原市塩原温泉須巻地区に位置する標高 710m の小峰であり、アカマツ、クリ、コナラ、カエデ等の天然林が良好に保存されており、地元住民や温泉客の方々が自然観察等に利用しています。
富士山・大沼	47	那須塩原市新湯温泉の東方に位置する標高 1,184m の新湯富士を中心に、サワラ、ヒバ、モミ、イヌブナ、カエデ等の針広混交林が広がっています。また大沼湖沼群には、モリアオガエルが生息し、ミツガシワ等の湿原植物が見られます。
前 山	11	那須塩原市塩釜地区の箒川渓谷沿いの河畔林で、周囲には塩原温泉ビジターセンターを中心とした林間広場や駐車場、公衆トイレが整備されています。林内は樹齢 100 年以上のアカマツ、モミ、ミズナラ等からなる天然林です。



富士山・大沼 自然観察教育林



須巻富士 自然観察教育林

(3) 風景林

名 称	面積 (ha)	概 要
ほうきがわ 箒川 溪 谷	401	那須塩原市関谷地区から塩原温泉に至る国道 400 号線に沿って流れる箒川の両岸に位置し、箒川溪谷と両岸のアカマツ、モミ、ブナ、コナラ、ミズナラ、クリ等の天然林からなり、春の新緑や秋の紅葉時期には多くの人が素晴らしい景観を楽しみに訪れます。
大 滝	13	西荒川ダム上流の西荒川溪谷両岸に位置する森林で、溪谷の「大滝」がすばらしい景観を呈しています。

(4) 野外スポーツ地域

名 称	面積 (ha)	概 要
那 須 高 原 ス キ ー 場	18	那須連峰（茶臼岳）の東南山麓部に位置する那須大丸温泉に隣接して、那須町営スキー場（那須温泉ファミリースキー場）が開設されていましたが、令和 4 年 3 月から営業を休止し、令和 8 年度から施設の撤去が実施される予定です。
中 大 倉 山 ス キ ー 場	442	那須連峰の東に位置する中大倉山の山頂から東斜面一帯に広がるスキー場（マウントジーンズスキー場）が開設されていましたが、令和 6 年から施設の撤去が行われ、植生回復が実施されています。
明 神 岳 ス キ ー 場	253	那須塩原市塩原地区の明神岳の西面に広がる変化に富んだ傾斜を有する森林内に北関東最大級のスキー場（ハンターマウンテン塩原スキー場）が整備され、首都圏から多くのスキー客が訪れます。また、夏季にはゲレンデや林地を活用したキャンプ場に多くの観光客が訪れます。
塩 原 高 原 ス ポ ー ツ 林	27	那須塩原市塩原地区の明神岳スキー場（ハンターマウンテン塩原スキー場）と一体的に駐車場等が整備され利便性の向上に貢献しています。
箱 の 森 ス ポ ー ツ 林	32	那須塩原市塩原温泉の背景に位置し、温泉客等に自然探勝等に利用されているほか、地域住民や観光客が多く訪れます。



明神岳スキー場 野外スポーツ地域
(ハンターマウンテン塩原スキー場)

3 貴重な森林等の保全のための保護林、緑の回廊の設定

国有林野内の森林生態系や希少な野生生物を将来にわたって保護・管理するため、塩那森林管理署では、4箇所 8,907ha を保護林に設定しています。さらに保護林を中心として、野生生物の移動経路を確保し生息・生育地の拡大と相互交流を促進するための「緑の回廊」を設定しています。

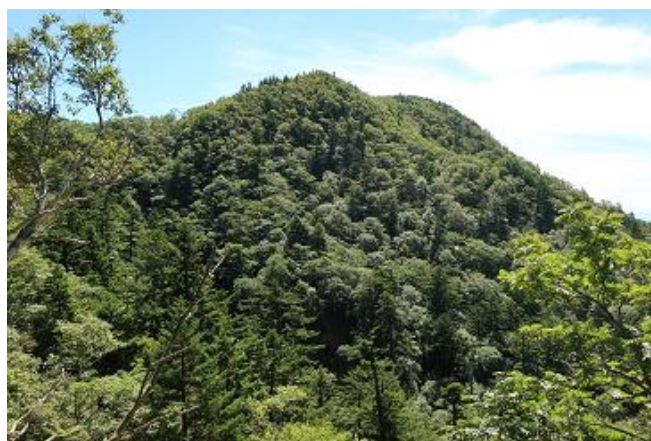
(1) 保護林

① 生物群集保護林

名 称	面積 (ha)	概 要
おおさびさんち 大佐飛山地	8,152	那須塩原市に位置し、標高は 900～1,900m に及び、稜線部は亜寒帯～亜高山帯に属しコメツガを主体としてダケカンバやオオシラビソ、ハイマツ等が見られ、大蛇尾川源流部沿いの斜面は冷温帯に属しブナ等を主体とする落葉広葉樹からなる天然林です。
しょうじんさわ 尚 仁沢	616	塩谷町の高原山の東斜面に広がり、この地方では貴重なブナやイヌブナの天然林が広く分布しています。



おおさびさんち
大佐飛山地 生物群集保護林



しょうじんさわ
尚 仁沢 生物群集保護林

② 希少個体群保護林

名 称	面積 (ha)	概 要
那 須 街 道 ア カ マ ツ 遺 伝 資 源	42	県道 17 号那須高原線の両側に広がる樹齢 100 年程度のアカマツ天然林にクリ、コナラが混交しており、まとまりのある東日本型のアカマツ林の貴重な遺伝資源として保護されています。
ながれいしやま おおとうげ 流石山・大峠 ミヤマナラ	97	那須連峰流石山の南側斜面に位置し、冬期の季節風による雪庇の発達により特異な亜高山帯植生からなり、ミヤマナラ群落、ハイマツ群落、雪田草原等が見られます。



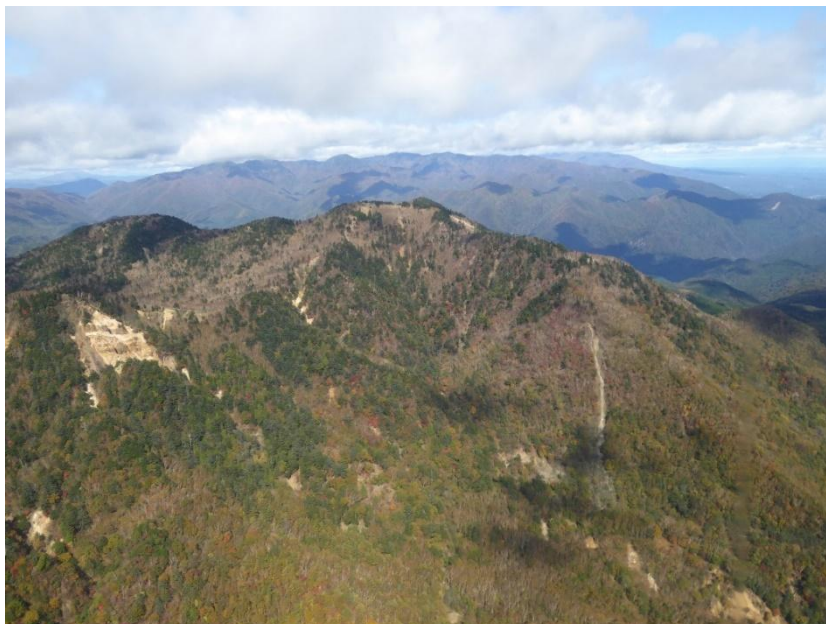
那須街道アカマツ遺伝資源 希少個体群保護林



ながれいしやま おおとうげ
流石山・大峠ミヤマナラ 希少個体群保護林

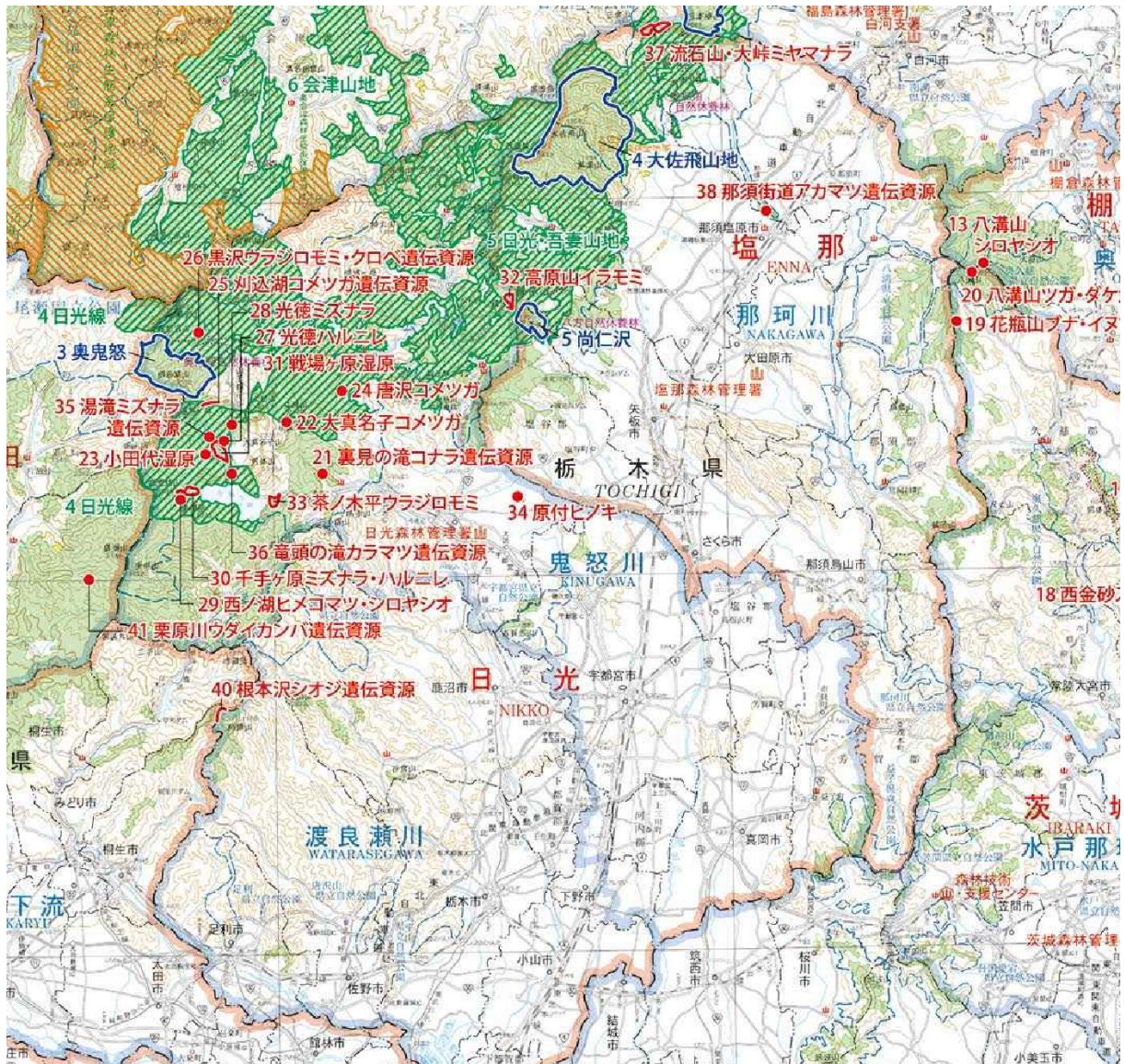
(2) 緑の回廊

名称	面積 (ha)	概 要
にっこう あづまさんち 日光・吾妻山地	18,571	当初は「日光・那須塩原緑の回廊」として設定していましたが、平成 22 年度に、より広範囲な森林の連続性の確保と生物多様性の維持・向上を図るため、福島県内の保護林とも連結する形に面積を拡大し、現在の名称に変更したもので、当署管内では延長 26 km が設定されています。(緑の回廊全体としては総延長 180 km、総面積 97,235ha)



日光・吾妻山地 緑の回廊

保護林及び緑の回廊位置図（栃木県内国有林）



<凡例>

- 青字：生物群集保護林
- 赤字：希少個体群保護林
- 緑字：緑の回廊

IV 森林・林業施策全体の推進への貢献

「森の国・木の街」の実現に向けた施策へ貢献するため、地域における木材の安定供給と再造林等の森林整備の確実な実施に取り組んでいます。また、「新しい林業」の実現に向けて、林業の省力化や低コスト化等に資する技術開発・実証により効率的な森林施業を推進するとともに、スマート林業技術の導入を推進します。これらの成果は民有林関係者を含めた森林施業に関する現地検討会の開催を通じて、民有林への普及・定着に引き続き取り組みます。

1 木材の安定供給

国有林野事業からの木材の供給においては、地域の木材需要の動向を踏まえながら、主伐・間伐期に達した森林の立木や、間伐等の森林整備事業により生産された丸太（素材）を計画的に販売しています。原木市場等へ販売を委託する「委託販売」のほか、国産材の需要の拡大、加工・流通の合理化等に取り組む製材工場等と協定を締結し丸太を直送する「システム販売」に取り組んでいます。

また、継続的な事業の確保により林業経営体の経営安定に資するため、伐採から造林までを一体的に実施できる「造林事業付き立木システム販売」に取り組んでいます。



高性能林業機械（プロセッサ）による造材作業



フォワード（林内運搬車）



トラック運材（安定供給システム販売）



高原・八溝ブランドとして丸太を販売

2 低コスト造林技術等の開発・実証・普及

伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の実現に向けて、特定苗木等の導入や低密度植栽の実践、下刈り回数・方法の見直し、伐採と造林作業までを一体的に行う「一貫作業システム」等、林業の省力化や低コスト化等に資する技術開発・実証や事業での実用化による効率的な森林施業に取り組み、その成果等を、現地検討会の開催等を通じて、民有林への普及・定着に引き続き取り組みます。



高性能林業機械を活用した地拵作業
(一貫作業システム) (大田原市南方)



コンテナ苗の利用



列状間伐実施箇所 (林内の状況)
(大田原市南方)



列状間伐現地検討会の様子
(大田原市南方)

3 鳥獣被害対策の推進

管内でもシカやクマの生息が多い中塩原・矢板エリアにおいては、造林木の食害等の被害軽減に向け、金網柵の設置や剥皮防護テープの施工、さらにはシカの個体数調整（わなによる捕獲）に取り組んでいます。また、近年、生息情報が増えつつある八溝エリアにおいては、センサーカメラによるシカの生息状況調査に加えてわなによる捕獲を開始しました。関係機関とも連携しながら、地域の現状に即した被害防止対策等を進めています。



剥皮（クマ）被害防止のための保護テープ（那須塩原市）



ニホンジカによる食害防止用金網柵（塩谷町）



くくりわなによるシカの捕獲（那須塩原市）



センサーカメラ（杵内）とカメラが捉えたオスジカ（那須町伊王野）

4 民有林と連携した森林整備

大田原市、大田原市森林組合、県北環境森林事務所と大田原市地域森林整備推進協定を締結し、国有林と民有林が連携して効率的な路網整備や森林整備を進めています。

また、国有林内に孤立して存在し施業が十分に行われていない民有林について、国有林と一体的に整備する等の公益的機能維持増進協定についても取り組みます。

また、とちぎフォレスターズネットワーク等を通じ、栃木県、市町等と病虫獣害防止や地域課題に即した多様性の高い森づくりについて検討を行い、新技術の普及に取り組めます。

V 開かれた「国民の森林^{もり}」としての管理経営を目指します

塩那森林管理署では、「国民の森林^{もり}」である国有林を身近に感じていただくとともに、森林・林業への理解を深めていただくため、国有林を様々な活動のフィールドとして積極的に活用していただけるよう取り組んでいます。

1 国民参加の森林づくり

自主的な森林整備活動や地球環境保全への貢献といった要望に応えるため、各団体と協定を締結し、ボランティア活動のフィールドとして国有林を提供しています。

名称	団体名	所在地	面積 (ha)	活動内容
樹楽会ふれあいの森	日本盆栽協会那須野ヶ原支部	那須町	86	那須ゴヨウマツ及び生育環境の保全、自然観察イベントの実施
那須五葉松の郷 ふれあいの森	栃木県那須五葉松保存会	那須町	96	那須ゴヨウマツ及び生育環境の保全、自然観察イベントの実施
赤沼 ～モリアオガエルとサンショウウオの森～	やまもりかい 森衛隊	那須塩原市	13	赤沼周辺での歩道修繕等の環境整備活動
那須野ヶ原 オオタカの森	NPO 法人オオタカ保護基金	那須町	79	野鳥の生息状況の把握及び営巣地の保護活動
那須北岳遊々の森	NPO 法人那須高原自然学校	那須町	107	動植物や星の観察、森林整備の体験等
塩原クマタカの森	NPO 法人オオタカ保護基金	那須塩原市	114	自然観察会を通じた希少野生生物に配慮した森林づくりの普及啓発
塩原ハナモモの森	塩原温泉活性化推進協議会	那須塩原市	1	景観を魅力あるものとするため、毎年の下刈り、野生獣害対策及び区域の見回りを実施

2 森林・林業の普及啓発活動～森林環境教育等

地域の小中学生や各種ボランティア団体等を対象に、国有林を用いた林業の体験や森林環境教育等を地域の関係者と連携しながら実施しています。



ボランティア団体による枝打ち
(那須町)



小学生の卒業記念植樹（那須町）

3 国有林の管理経営に関する情報等の発信

塩那森林管理署では、国有林を「国民の森林^{もり}」として開かれた管理経営を目指しています。特に、国有林の管理経営は地域管理経営計画などの計画に基づいて行うこととされています。各種計画の策定の際にはあらかじめ公告・縦覧を行い、国民の皆さんや関係行政機関の意見を伺い、その意見を各計画に反映するよう努めています。

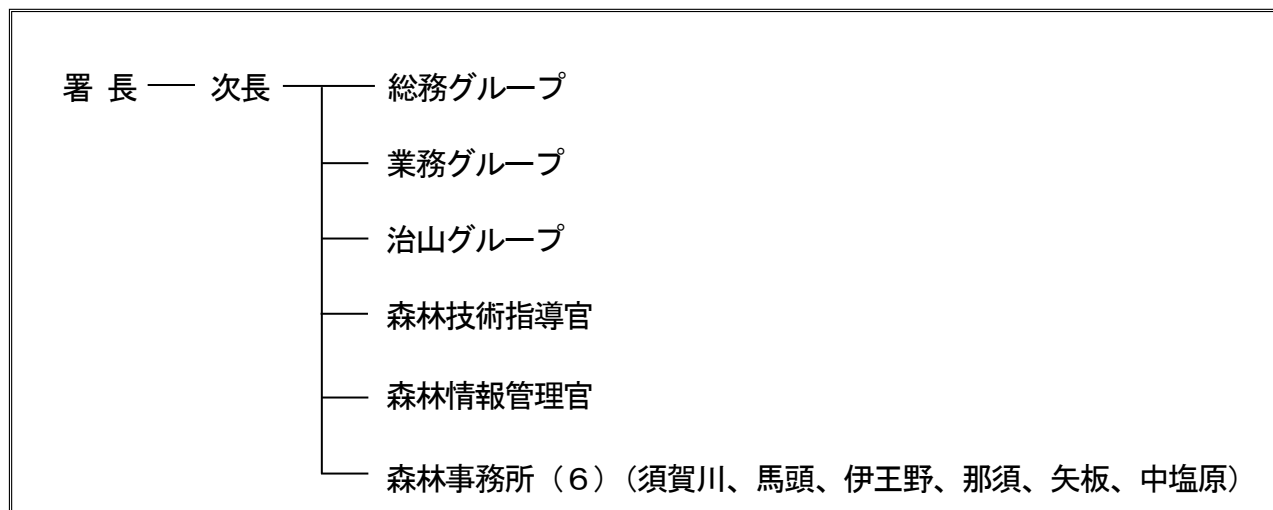
また、管内国有林の管理経営の状況について、ホームページ等により発信していきます。

Ⅵ 令和8年度主要事業量（予定）

収穫量 (m³)			製品販売量 (m³)				立木販売量(m³)
主伐	間伐	計	システム	委託	土場活用型委託	計	32,145
19,045	59,015	78,060	33,015	2,000	700	35,715	

造林事業 (ha)						林道事業 (m)	治山事業
地拵	植付	下刈	除伐	病虫害防除	獣害対策	新設	予防治山
57	71	284	94	36	5	392	溪間工 1基 山腹工 0.05ha

Ⅶ 塩那森林管理署組織図



Ⅷ 塩那森林管理署の沿革

明治 22 年(1886 年)	栃木大林区署大田原派出所として開設（初代庁舎）
明治 23 年(1887 年)	大田原小林区署に改称
大正 2 年(1913 年)	新庁舎を新築（2 代目庁舎）
大正 13 年(1924 年)	東京営林局大田原営林署に改組
昭和 22 年(1947 年)	林政統一により前橋営林局大田原営林署となる
昭和 26 年(1951 年)	宮内庁那須御用邸附属林の管理開始(委嘱)
昭和 30 年(1955 年)	新庁舎を新築（3 代目庁舎）
平成 11 年(1999 年)	塩那森林管理署に改組
平成 13 年(2001 年)	矢板事務所（旧矢板営林署）を廃止し統合
平成 14 年(2002 年)	新(現)庁舎を新築（4 代目庁舎）

